

チームかけはし

海外子女教育でよくある悩み

- 現地語が日本語より先に強くなってしまい、日本語を話すことを嫌がる（幼稚園）
- 週一回日本語補習校に通っていたが、日本語力維持に精一杯。学年相応の日本語力がなく、帰国後に学校でやっていけるのか心配（小5）

課題

- 「現地語より先に継承語（日本語）を育てる」などのバイリンガル教育のセオリーを親が知らない
 - 自身の体験から自然に日本語が身に付くと思いついてしまい、話しかけや読み聞かせが不十分
- 教科書中心の授業では非効率で、週一回で身につかない
 - 漢字や熟語でつまづくので、言語技術習得にたどりつかない
 - 現地校での学習内容を活用できない

ソリューション

- バイリンガル教育の知見を親に伝える
 - 海外子育てをする海外赴任者や永住者に対し、セオリーや先輩の経験談を伝え、事前計画を可能にする
 - 海外子女教育コミュニティを立ち上げ、個別具体的な課題に対するアドバイスを相互に得る場を提供する
- 日本語補習校向けに、教科書以外の授業教材を提供する
 - （外国語学習法）言語技術の学習を、漢字・熟語の学習と切り分ける
 - （現地カリキュラム接続）パラグラフエッセイを説明文理解に生かすなど、現地校の学びを活用する
- 上記を授業案＋指導ツール＋問題演習＋LMSをセットで、オンライン授業システムとして全世界の補習校に提供、自らもオンライン補習授業を展開する

日本企業へのメリット

- 海外駐在者の子女教育への不安を払拭し、日本人学校設置地域以外への進出を容易にする。
- 現地永住者コミュニティの日本語力を維持。強化し、将来的な現地採用機会ロスを低減する
- これらを通して、長期的に日本企業の国際競争力を高める一助となる